

第7次大分県医療計画の進捗状況

(がん)

項目	計画策定時の 現状値	目標 〈令和5(2023)年度〉	現時点における実績	備考
年齢調整死亡率(75歳未満)	70.5 (H27年・人口10万対)	57.9	65.7 (H30年・人口10万対)	
がん検診受診率				令和2年7月頃にR1年データが公表される予定
胃がん検診	41.6%(H28)	50%以上	-	
肺がん検診	46.1%(H28)	50%以上	-	
大腸がん検診	37.0%(H28)	50%以上	-	
乳がん検診	41.3%(H28)	50%以上	-	
子宮がん検診	39.4%(H28)	50%以上	-	

第7次大分県医療計画の進捗状況

(脳卒中)

項目	計画策定時の 現状値	目標 〈令和5(2023)年度〉	現時点における実績	備考
脳血管疾患年齢調整死亡率 (人口10万人対)	男性:34.2(H27) 女性:18.8(H27)	男性:27.4 女性:15.0	-	令和5年3月頃にR2年データが公表される予定
早期リハビリテーション実施件数	10,214件(H27)	現状値を上回る	-	厚生労働省NDBにおいては、H28以降データが掲載されていない
t-PAによる脳血栓溶解療法 実施症例数 (参考指標)	128例 (H28年度調査)	なし	135例 (H30年度調査)	

(心筋梗塞等の心血管疾患)

項目	計画策定時の 現状値	目標 〈令和5(2023)年度〉	現時点における実績	備考
急性心筋梗塞年齢調整死亡率 (人口10万人対)	男性:20.7(H27) 女性:7.5(H27)	男性:17.1 女性:6.2	-	令和5年3月頃にR2年データが公表される予定

第7次大分県医療計画の進捗状況

(糖尿病)

項目	計画策定時の 現状値	目標 〈令和5(2023)年度〉	現時点における実績	備考
メタボリックシンドローム 予備群・該当者の割合 (40歳～59歳)	男性 35.8%(H27) 女性 8.7%(H27)	男性 30.0% 女性 7.5%	男性 36.2%(H28) 女性 9.0%(H28)	
特定健診受診者のうち、 HbA1Cが6.5%以上の割合 (40歳～59歳)	男性6.44 %(H25) 女性2.86 %(H25)	男性5.0 % 女性2.0 %	男性6.64 %(H27) 女性2.69 %(H27)	
国保加入者で健診でHbA1Cが6.5%以上 で糖尿病の治療を受けている者の割合 (40歳～59歳)	73.6%(H28)	80.0%	71.3%(H30)	
国保加入者で特定健診受診者のうち、 糖尿病腎症第3期の者の数	1,575人(H28)	1,575人	1,507人(H30)	
糖尿病腎症による新規透析導入者の数	192人(H27)	200人	165人(H29)	
おおいた糖尿病相談医の数	132人(H28)	250人	227人(H30)	
大分県糖尿病療養指導士の数	566人(H28)	700人	600人(H30)	

第7次大分県医療計画の進捗状況

(精神疾患)

項目	計画策定時の 現状値	目標 〈令和5(2023)年度〉	現時点における実績	備考
入院後3ヶ月、6ヶ月、1年時点退院率	3ヶ月:49.2%(H27)	3ヶ月:69.0%	3ヶ月:59.1%(H29)	
	6ヶ月:71.9%(H27)	6ヶ月:84.0%	6ヶ月:76.8%(H29)	
	1年 :83.3%(H27)	1年 :90.0%	1年:83.8%(H29)	
1年以上長期入院患者数	3,308人(H27)	2,901人	3,329人(H29)	
自殺死亡率(人口10万人あたり)	16.9(H28)	14.2	18.0(H30)	

第7次大分県医療計画の進捗状況

(認知症)

項目	計画策定時の 現状値	目標 〈令和5(2023)年度〉	現時点における実績	備考
大分オレンジドクター登録者数	435人 (H28年度末)	500人	467人 (H30年度末)	
認知症サポート医数	66人 (H28年度末)	87人	76人 (H30年度末)	
認知症カフェ等における認知症サポーターの活動者数	0人 (H28年度末)	500人	323人 (H30年度末)	
認知症対応力向上研修受講者数				
歯科医師	59人 (H29年度実績)	180人	125人 (H30年度実績)	
薬剤師	55人 (H29年度実績)	450人	92人 (H30年度実績)	
一般病院勤務の医療従事者	1,426人 (H29年度実績)	1,500人	1,715人 (H30年度実績)	
看護職員	64人 (H29年度実績)	310人	110人 (H30年度実績)	
認知症介護指導者養成研修受講者数	30人 (H28年度実績)	40人	32人 (H30年度実績)	
認知症介護実践リーダー研修受講者数	918人 (H28年度実績)	1,300人	1,018人 (H30年度実績)	
認知症介護実践者研修受講者数	2,728人 (H28年度実績)	4,200人	3,155人 (H30年度実績)	
認知症カフェ等の設置市町村数	16 (H28年度実績)	18	16 (H30年度実績)	

第7次大分県医療計画の進捗状況

(小児)

項目	計画策定時の 現状値	目標 〈令和5(2023)年度〉	現時点における実績	備考
小児死亡率(人口10万対)	内因死亡 外因死亡	死亡率の低下	内因死亡 外因死亡	
5か年死亡数/5/中間年人口	(H24~H28)		(H26~H30)	
0-4歳	49.7 5.8		46.8 6.2	
5-9歳	7.7 4.9		8.1 4.1	
10-14歳	7.3 4.2		6.4 2.8	
小児の二次救急医療体制の整備率	83.3%(5/6) (H29年度末)	83.3%(5/6)	83.3%(5/6) (R1年度末)	
大分県子ども救急電話相談事業 実施状況	平日(月~土曜) 19:00~翌朝8:00 日・祝日 9:00~17:00及び 19:00~翌朝8:00 (H29年度末)	継続実施	平日(月~土曜) 19:00~翌朝8:00 日・祝日 9:00~17:00及び 19:00~翌朝8:00 (R1年度末)	

(周産期)

項目	計画策定時の 現状値	目標 〈令和5(2023)年度〉	現時点における実績	備考
周産期死亡率	3.5(全国3.6) (H28)	恒常的に全国平均以下	3.0(全国3.3) (H30)	
新生児死亡率	1.2(全国0.9) (H28)	全国平均以下	0.4(全国0.9) (H30)	

第7次大分県医療計画の進捗状況

(救急)

項目	計画策定時の 現状値	目標 〈令和5(2023)年度〉	現時点における実績	備考
救急自動車による医療機関への 平均収容所要時間	35.0分 (H27)	39.0分以下	35.7分 (H30)	
初期救急医療体制の整備・拡充				
在宅当番医制等	10圏域(H29年度末)	10圏域	10圏域(R1年度末)	
歯科在宅当番医制等	10圏域(H29年度末)	10圏域	10圏域(R1年度末)	
第二次救急医療体制の整備・拡充				
病院群輪番制病院	7圏域(H29年度末)	7圏域	7圏域(R1年度末)	
共同利用型病院	3圏域(H29年度末)	3圏域	3圏域(R1年度末)	
第三次救急医療体制の整備・拡充 (救命救急センター設置数)				
高度	1施設(H29年度末)	1施設	1施設(R1年度末)	
通常型	1施設(H29年度末)	1施設	1施設(R1年度末)	
旧新型	2施設(H29年度末)	2施設	2施設(R1年度末)	

第7次大分県医療計画の進捗状況

(災害)

項目		計画策定時の 現状値	目標 〈令和5(2023)年度〉	現時点における実績	備考
災害拠点病院	病院の耐震化率 (災害拠点病院14病院)	92.9%(13病院) (H29年度末)	100% (14病院)	100%(14病院) (R1年度末)	
	BCPの考え方に基づいた災害対策マニュアルを作成している病院の割合	57.1%(8病院) (H29年度末)	100% (14病院)	100%(14病院) (R1年度末)	
	多数の傷病者の受け入れを想定した災害実動訓練を実施した病院の割合	85.7%(12病院) (H29年度末)	100% (14病院)	64.3%(9病院) (R1年度末)	
	災害に備えて医療資機材の備蓄を行っている病院の割合	85.7%(12病院) (H29年度末)	100% (14病院)	100%(14病院) (R1年度末)	
	受水槽の保有もしくは井戸設備の整備を行っている病院の割合	100%(14病院) (H29年度末)	継続維持	100%(14病院) (R1年度末)	
	食料や飲料水、医薬品等を3日分程度備蓄している病院の割合	100%(14病院) (H29年度末)	継続維持	100%(14病院) (R1年度末)	
	食料や飲料水の物資の供給について、関係団体と協定を結び優先的に供給される体制を整えている病院の割合	71.4%(10病院) (H29年度末)	100% (14病院)	100%(14病院) (R1年度末)	
	通常時の6割程度の発電量のある自家発電機を保有し、3日分程度の燃料を確保している病院の割合	57.1%(8病院) (H29年度末)	100% (14病院)	92.9%(13病院) (R1年度末)	
応援派遣	大分DMATを構成する医療従事者の数	507人(H29年度末)	600人	465人(R1年度末)	
	災害医療コーディネーター数(発災～超急性期)統括DMAT	8人(H29年度末)	29人	7人(R1年度末)	
	災害医療コーディネーター数(急性期～慢性期)	17人(H29年度末)	31人	17人(R1年度末)	

第7次大分県医療計画の進捗状況

(へき地)

項目	計画策定時の 現状値	目標 〈令和5(2023)年度〉	現時点における実績	備考
自治医科大学・大分大学地域 枠卒業医師の計画的配置(人)	19 (H29年度)	54	22 (R1年度)	
公立へき地診療所からの 医師(代診医含む)派遣要請 に対応した割合(%)	100 (H28年度)	100	100 (R1年度)	
公立へき地診療所への医師の 配置率(%)	100 (H29年度)	100	100 (R1年度)	

第7次大分県医療計画の進捗状況

(在宅)

目 標 項 目	計画作成時の現状値 (平成28年度末)	目 標 (平成32年度)	平成29年度末 (実績)	平成30年度末 (実績)
在宅医療を実施している医療機関数 及び実施する意思がある医療機関数 【県医療政策課調査】	診療所 376施設(実施:279 意思あり:97) 病院 87施設(実施:64 意思あり:23) 【平成28年度調査】	平成28年度調査による施設 数を上回る	診療所 388施設 (実施:286 意思あり:102) 病院 86施設 (実施:61 意思あり:25) 【平成29年度調査】	診療所 418施設 (実施:299意思あり:119) 病院 82施設 (実施:66意思あり16) 【平成30年度調査】
在宅歯科医療を実施している歯科診 療所及び実施する意思がある歯科診 療所数 【県医療政策課調査】	歯科診療所 247施設(実施:149 意思あり:98) 【平成28年度調査】	平成28年度調査による施設 数を上回る	歯科診療所 240施設 (実施:160 意思あり:80) 【平成29年度調査】	歯科診療所 282施設 (実施:185意思あり97) 【平成30年度調査】
在宅患者訪問薬剤管理を実施してい る薬局数及び実施する意思がある薬 局数 【県医療政策課調査】	薬局 269施設(実施:242 意思あり:27) 【平成28年度調査】	平成28年度調査による施設 数を上回る	薬局 462施設 (実施:428 意思あり:34) 【平成29年度調査】	薬局 406施設 (実施:375 意思あり:31) 【平成30年度調査】
訪問診療を受けた患者数 【NDB及び大分県統計年鑑】	86,586人(延人数) 人口10万対 東部 9,208人 中部7,673人 南部 6,310人 豊肥 10,610人 西部 4,086人 北部 5,247人 (平成26年度NDB及び平成26年大分県推計人口 年報(平成26年10月1日現在) (地域格差:豊肥/西部=2.60)	利用患者数全体を増加すると ともに、総人口10万対で、医 療圏別に最も多い医療圏と最 も少ない医療圏の格差を縮 小する。	90,310人(延人数) 人口10万対 東部9,395人 中部 8,319人 南部7,289人 豊肥10,103人 西部4,533人 北部4,846人 (平成27年度NDB及び平成27年大分県推 計人口 年報(平成27年10月1日現在) (地域格差:豊肥/西部=2.23)	90,123人(延人数) 人口10万対 東部9,652人 中部8,199人 南部7,131人 豊肥10,589人 西部4,687人 北部4,847人 (平成28年度NDB及び平成28年大分県推 計人口年報(平成28年10月1日現在) (地域格差:豊肥/西部=2.26)
(参考) 訪問診療を受けた患者数 【国保連合会医療介護 レセプトデータ】			10,674人(実人数) 人口10万対 東部1,057人 中部971人 南部911人 豊肥1,261人 西部687人 北部623人 (平成29年度国保連合会医療介護 レセプトデータ「在宅患者訪問診療料」及び 平成29年大分県推計人口年報(平成29年 10月1日現在) (地域格差:豊肥/北部=2.02)	11,333人(実人数) 人口10万対 東部1,159人 中部1,026人 南部995人 豊肥1,349人 西部729人 北部674人 (平成30年度国保連合会医療介護 レセプトデータ「在宅患者訪問診療料」及び 平成30年大分県推計人口年報(平成30年 10月1日現在) (地域格差:豊肥/北部=2.00)

●「訪問診療を受けた患者数」【NDB】は、在宅患者訪問診療料(居宅、同一建物)のレセプトデータより延人数を算出。

●「訪問診療を受けた患者数」【国保連合会医療介護レセプトデータ】は、在宅患者訪問診療料(居宅、同一建物)のレセプトデータより実人数を算出。

第7次大分県医療計画の進捗状況

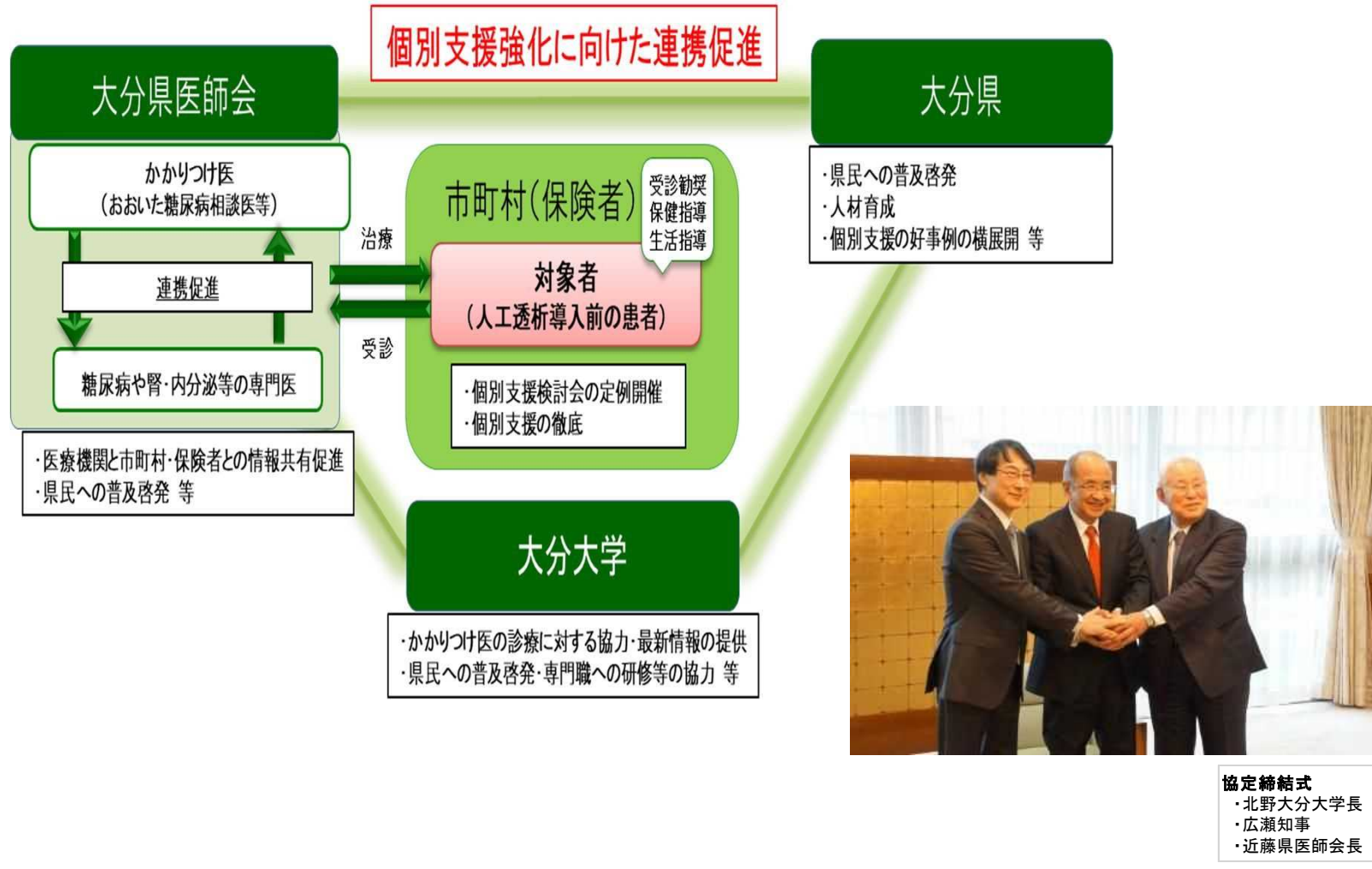
(在宅)

目 標 項 目	計画作成時の現状値 (平成28年度末)	目 標 (平成32年度)	平成29年度末 (実績)	平成30年度末 (実績)
訪問看護を受けた患者数 【NDB及び大分県統計年鑑】	6,465人(延人数) 人口10万対 東部 783人 中部356人 南部553人 豊肥1,150人 西部693人 北部632人 (平成26年度NDB及び平成26年大分県推計人口 年報(平成26年10月1日現在) (地域格差:豊肥/中部=3.23)	利用患者数全体を増加すると ともに、総人口10万対で、医 療圏別に最も多い医療圏と最 も少ない医療圏の格差を縮 小する。	6,241人(延人数) 人口10万対 東部744人 中部371人 南部228人 豊肥1,067人 西部736人 北部673人 (平成27年度NDB及び平成27年大分県推 計人口年報(平成27年10月1日現在) (地域格差:豊肥/南部=4.68)	7,326人(延人数) 人口10万対 東部822人 中部447人 南部256人 豊肥1,291人 西部920人 北部802人 (平成28年度NDB及び平成28年大分県推 計人口年報(平成28年10月1日現在) (地域格差:豊肥/南部=5.04)
(参考) 訪問看護を受けた患者数① 【国保連合会医療介護 レセプトデータ(訪問看護指示料)】			7,257人(実人数) 人口10万対 東部715人 中部643人 南部703人 豊肥994人 西部368人 北部459人 (平成29年度国保連合会医療介護 レセプトデータ「訪問看護指示料」及び平成 29年大分県推計人口年報(平成29年10月 1日現在) (地域格差:豊肥/西部=2.70)	7,602人(実人数) 人口10万対 東部779人 中部671人 南部746人 豊肥977人 西部403人 北部499人 (平成30年度国保連合会医療介護 レセプトデータ「訪問看護指示料」及び平成 30年大分県推計人口年報(平成30年10月1 日現在) (地域格差:豊肥/西部=2.42)

- 「訪問看護を受けた患者数【NDB】」は、在宅患者訪問看護・指導料(精神科訪問看護・指導料(1)(2)(3)、在宅患者訪問看護・指導料、同一建物居住者訪問看護・指導料)のレセプトデータより延人数を算出。
- 「訪問看護を受けた患者数①【国保連合会医療介護レセプトデータ】」は、訪問看護指示料のレセプトデータより実人数を算出。

大分県糖尿病性腎症及び慢性腎臓病の重症化予防に係る連携協定

令和元年12月25日締結 ※大学を含めた連携協定の締結は全国初



在宅医療提供体制整備事業(人生会議関連)

人生の最終段階における医療・ケアを話し合う人生会議の普及・啓発に係る取組を推進する。

目的と必要性

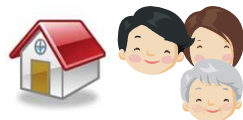
- 全ての方が自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるようにするため、人生の最終段階における医療・ケアにおいて十分に本人の意思が尊重されることが必要。
- 本人の意思に沿った医療・ケアが行われるようにするためには、人生の最終段階における医療・ケアについて繰り返し話し合う取組【ACP(アドバンス・ケア・プランニング)…国はACPの愛称を人生会議と決定】を、医療・介護現場だけではなく、国民一人一人に普及・啓発することが必要。
【厚労省：人生の最終段階における医療・ケアの普及・啓発の在り方に関する報告書(H30.3)】
- 「終末医療について、オープンに語り合える機会が必要。日常の中で、本人の意思を家族と共有できるよう啓発を進めて欲しい。」
【大分県行財政改革推進委員会(9/17)における委員意見】



① 県民向け普及・啓発(継続)

在宅医療や人生会議について、県民への普及・啓発を図るため、各地域でセミナーを開催

- 【対象者】一般県民
- 【講師】在宅医療等に携わる医師・看護師
- 【開催地】県内3地域



② 医師を含む多職種チームを対象にした研修【新規】

人生の最終段階における患者の相談に適切に対応できる医療・介護人材を育成する研修

- 【対象者】医師、看護師、薬剤師、理学・作業療法士、社会福祉士、ケアマネジャー等
- 【講師】厚労省の指導者養成研修修了者
- 【開催回数】2回



事業内容